

家庭ごみ有料化及び戸別収集並びに分別変更等によるごみ量の推移について

1 状況

家庭ごみ有料化及び戸別収集・分別変更・収集頻度の適正化等、平成31年4月1日からごみの出し方が大きく変更となった。

2 ごみ量等について【小平・村山・大和衛生組合からの速報値】

4月・5月の2か月間のごみ量等について、前年同月と比較する。

(1)燃やすごみ及び燃やさないごみ並びに粗大ごみ行政収集量

**燃やすごみは、前年同期比約13.4%の減少**となった。

家庭ごみ有料化によるリデュースへの意識が高まった影響や、3月末まで燃やすごみとして分別していた軟質プラスチックがプラスチック製容器包装へ分別が変更になったことが減少の主要因と考えられる。

**燃やさないごみは、前年同期比約76.1%の減少**となった。

家庭ごみ有料化後は、これまで燃やさないごみの袋の中に入れていたプラスチック製容器包装の分別の徹底や、分別変更（一部品目が燃やさないごみから燃やすごみに変更）、収集頻度が週1回から4週に1回に変更になったことが減少の主要因と考えられる。

**粗大ごみは、前年同期比約8.7%の減少**となった。

家庭ごみ有料化直前期に市民が駆け込み排出のためにごみ等の整理をした際の粗大ごみが4月にも排出されたため減少率が低いものと考えられる。

**ごみ収集量全体としては、約21.4%の減少**となった。特に4月は、3月の駆け込み排出の影響から減少率は高くなっているものと考えられるが、着実にごみ量は減量している。

【収集量：kg】

	燃やすごみ	燃やさないごみ	粗大ごみ	合計
平成31年4月	2,048,140	64,500	103,020	2,215,660
平成30年4月	2,431,710	369,440	101,350	2,902,500
増減量	▲383,570	▲304,940	1,670	▲686,840
増減割合(%)	▲15.8	▲82.5	1.6	▲23.7
令和元年5月	2,326,460	123,530	94,180	2,544,170
平成30年5月	2,618,620	416,940	114,650	3,150,210
増減量	▲292,160	▲293,410	▲20,470	▲606,040
増減割合(%)	▲11.2	▲70.4	▲17.9	▲19.2
本年4月・5月合計	4,374,600	188,030	197,200	4,759,830
前年4月・5月合計	5,050,330	786,380	216,000	6,052,710
増減量	▲675,730	▲598,350	▲18,800	▲1,292,880
増減割合(%)	▲13.4	▲76.1	▲8.7	▲21.4

(2)プラスチック製容器包装行政収集量【搬出量ベース】 ※3市の搬入量から搬出量を按分

プラスチック製容器包装は、前年同期比約159.1%の増加となった。

3月末まで燃やすごみとして分別していた軟質プラスチックがプラスチック製容器包装へ分別が変更になったこと、これまで燃やさないごみの中に混在していたプラスチック製容器包装が家庭ごみ有料化により分別が徹底されたこと、袋の手数料によるインセンティブの効果などから、大幅に増加したと考えられる。

【搬出量：kg】

	プラスチック製容器包装
平成31年4月	106,459
平成30年4月	56,440
増減量	50,019
増減割合(%)	88.6
令和元年5月	186,687
平成30年5月	56,680
増減量	130,007
増減割合(%)	229.4
本年4月・5月合計	293,146
前年4月・5月合計	113,120
増減量	180,026
増減割合(%)	159.1